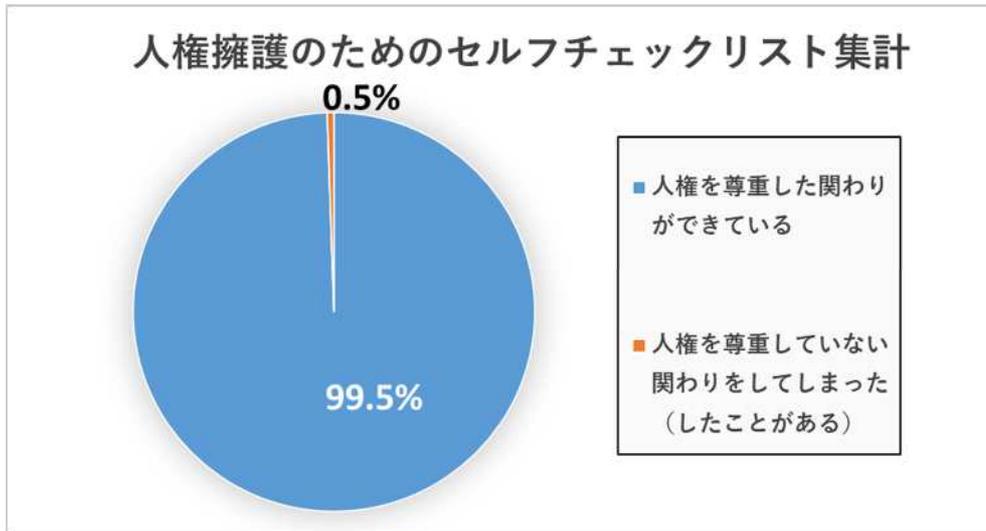


三本木保育所 人権擁護のためのセルフチェックリストの実施結果（令和6年度6月実施）
全国保育士会が作成した「保育所・認定こども園における人権擁護のためのセルフチェックリスト
～「子どもを尊重する保育」のために～」を使用しました。



全設問に対して 99.5%が望ましい対応をしていることが分かりました。0.5%の望ましくない対応は主に次の3項目に見られました。

並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る。

上記の項目につきましては、時間に追われてしまうと、子どもを急がせてしまうことがあるということなど、職員間で意見を交わしました。常に子どもの気持ちを大切にしていれば、このような行動になることはないことを確認し、『待つ』ことの大切さを忘れないように意識していくことを確認しました。

集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「 しないなら できないからね」と言葉をかける。

上記の項目につきましては、肯定的な言葉かけを心がけていくことを確認しました。肯定的な言葉かけは、職員の語彙力が大切になってくるので、子どもに伝えたいことを、肯定的な言葉に言い換える表現方法を常に意識していくこと、学び続けることを確認しました。

子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う。

上記の項目につきましては、上記のような言い方ではないことは確認しつつ、子どもに「待っててね」と伝えることがあるということに関して、意見を交わしました。
子どもが話したい！伝えたい！という気持ちは「今」であるということも、しっかりと心にとめておくことを確認し、その時すぐに聴くことができなくても、必ず後で耳を傾ける時間をもつことを確認しました。

（その他）

人権擁護について大切にしていきたい関わりのスローガン「笑顔で挨拶を」、「子どもへは肯定的な言葉かけを」などを作成し、視覚化することで職員の意識向上に努めています。